



# あやめだより

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

毎年、小学校6年生を対象に行われている「全国学力・学習状況調査」は、子供たちの学力や学習状況を把握し、その後の指導の充実、学習状況の改善等に役立てるためのものです。今年度の長岡南小学校の調査結果と分析がまとまりましたので、概要をお知らせします。



### <教科に関する調査結果から>

長岡南小学校の6年生が、 ○得意としていた点 ●苦手としていた点

※今年度は、国語・算数・理科の3教科が実施されました。

#### 【国語】

- 立場や意図を明確にしながらかし合い、自分の考えをまとめること。
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの本心をとらえること。
- 文章全体の構成や書き表し方に着目して、文や文章を整えること。
- 登場人物の相互関係について、描写をもとに考えること。

#### 【算数】

- 最小公倍数を求める、加法乗法の混じった計算など、基本的な計算と数の処理。
- 分類整理されたデータをもとに、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること。
- 図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質、構成の仕方について考察し、記述すること。
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述すること。

#### 【理科】

- 基本的な用具の操作と扱いについて理解すること。
- 自分の予想と実験結果をもとに、問題に対するまとめを検討・改善し、自分の考えをもつこと。



基礎的な知識や技能が身につけていることが分かる結果となりました。日々の家庭学習や、授業の中で既習事項の確認を行うなどの積み重ねが、基礎的な力の定着につながっています。また、無回答がほとんどないということから、最後まで粘り強く問題に向かう姿勢が育っていることもうかがえます。

一方で、選択式の問題において、問題文を正しく読み取れていないがために生じた誤答が多く見られました。これは6年生に限らず、長岡南小の子供たち全体に言える傾向であると思われます。これから各教科の授業において、情報を整理する力や、文章からイメージする力を育てていけるよう、文を最後まで読んだり、粘り強く考える習慣をつけたりしていけるよう、意識しながら学習していきます。

## <長岡南小の6年生の学習状況調査における表れ>

### 【よい表れ】

- 生活習慣が整っている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 家族とのふれあいの時間が長い。
- 自然と触れ合っている子が多い。
- ICT を活用しながら学習を進めている。

### 【課題となる表れ】

- 自分と違う意見について考えること。
- 自分で計画を立てて勉強すること。
- 読書をする時間や機会が少ない。
- 学習した内容について、次の学習や普段の生活につなげていくこと。

### 【二極化が見られた表れ】

- 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

☆睡眠時間の確保や、朝食を毎日食べている子の割合が年々上昇しています。しかし、時々食べずに学校へ来る子がいるのが気がかりです。朝はお忙しいですが、子供たちが落ち着いて元気に学校で過ごせるよう、今後もお力添えをお願いします。

☆日々の学習を、楽しみながら進んで取り組んでいることが分かりました。しかし、その学習がその時間・単元・教科で終わってしまい、次の学習に生かしたり、自分の生活と結びつけて考えたりしていく意識が不足しているようです。今、学習したことを自身の「生きる力」として、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力が求められています。主体的に学び続ける力を育むために、周囲の大人が、子供のよさや頑張りをとらえ、そのよさを伝えたり認めたりしていくことが大切だと思います。



☆読書習慣については、毎週水曜日の家庭学習、月一回のノーメディアの日を設定し、呼びかけています。調査から、ご家庭にもたくさん本を準備してくださっていることも分かりました。図書室の利用率も徐々に上昇してきていることから、読書に取り組もうという意識の向上がうかがえます。今後も機会をとらえ、本の楽しさを伝えていきます。

☆二極化が見られた家庭での携帯電話や ICT 機器の利用ですが、約束を守れている子の割合が高い一方で、「約束なし」の子の割合も高くなっていることが気がかりです。ぜひ、今一度ご家庭で約束を確認し、見届けをお願いしたいと思います。



子供たちの心身の健やかな成長は、学力の向上の土台となることは言うまでもありません。また、家庭・地域・学校で多くの人と触れ合い、学ぶことが、子供たちのよりよい成長につながっていくと考えます。

今回の調査の結果を生かし、学校では、一人一人の学びの過程を丁寧に見取り、力に変えていけるよう支援していきます。また、行事や生活の中で体験的な活動を積極的に取り入れていきたいと思えます。

子供たちのよりよい成長を願い、家庭と学校と力を合わせて、子供たちを支援していけますよう、今後もお力添えをお願いいたします。

